

HUROM

ヒューロムスロージューサー H-100S 取扱説明書
(家庭用・保証書在中)

02 この取扱説明書は、ご使用前に必ずお読みください。

- 01 安全にお使いいただくため、3～5ページの注意事項を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
 - 02 この取扱説明書はいつでもお手に取れる場所に保管をお願いいたします。
 - 03 この製品は日本国内用です。海外ではご使用いただけません。
 - 04 この製品の仕様や外観、価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
-

目 次

- 03 安全にお使いいただくために
- 05 ジュースを作る際の注意事項
- 06 部品名称
- 08 各部品について
- 12 ドラムセットの組み立て方(細目フィルター・粗目フィルター)
- 14 ドラムセットの組み立て方(フローズンフィルター)
- 16 ドラムセットと本体の組み立て方
- 17 電源ダイヤルの操作方法／使用中スクリーが止まる時
- 18 搾汁方法（ジュース／フローズン）
- 20 分解と洗浄方法
- 21 シリコン類の分解、取り付け方と洗浄方法
- 22 故障かなと思ったら
- 23 保証・アフターサービスについて
- 24 製品仕様・保証
- 25 保証書

03 安全にお使いいただくために

- ・ご使用前に＜安全にお使いいただくために＞を必ずお読みの上、お使いください。
- ・人体への危害、財産への損害を防ぐためにお守りいただくことを説明しています。

- 誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や深刻なけがに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取り扱いをしたときに、けがまたは家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの。

- お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



この記号は禁止内容を表示する記号です。



この記号は行動を規制したり指示する内容を表示した記号です。



警告

警告事項を守らなかった場合、深刻なけがを負ったり、死亡に至る可能性があります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、スイッチを操作したりしないでください。感電・漏電・火災の原因となります。



交流100V以外の電源で使用しないでください。感電、火災、性能異常の原因となります。電圧が異なる場合、モーターの寿命が短縮されたり、故障の原因となる可能性があります。



電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。感電、火災の原因となります。



電源コードをご使用の際は以下の点にご注意ください。
無理に曲げたり束ねたりしない、傷をつけない、引っ張らない、高温の近くやガスレンジなど火気の近くに置かない、重いものを載せない、狭い場所に通して挟んだり、加工したりしない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。



ご自身で絶対に分解や修理、改造をしないでください。本体の隙間や穴に、指やピンなど異物を入れないでください。火災や感電、けが、故障の原因となります。製品のアフターサービスおよび点検については、弊社フリーダイヤルおよび弊社ホームページ内・修理のご案内ページよりお問い合わせください。



電源コードが破損した場合、危険防止のため、コード交換は製造者もしくはその代理店、また同等の有資格者により行ってください。火災や感電、けがの原因となります。



本体を濡らしたり、水をかけたりしないでください。製品のスイッチに水やその他の異物が入らないように注意してください。感電やショートによる発火の原因となります。



安全のため、必ず正しいコンセントに差し込んでください。電話線などに差し込まないでください。火災や感電、けがの原因となります。



作動中にドラムセットの部品を分解したり、投入口またはジュース排出口、カス排出口に指や箸、スプーンなどを入れないでください。けがや事故、故障の原因となります。



お子様の手の届かない場所でご使用ください。また、お子様や取り扱いに慣れてない方は、一人で使わないようご注意ください。お子様が本体をさわったり倒したりすることでけがや故障が発生する恐れがあります。



製品をご使用の際にはネクタイやネックレス、スカーフなどが投入口に入らないようご注意ください。巻き込みによるけがや故障の原因となります。

04 安全にお使いいただくために



注意

**注意事項を守らなかった場合、
けがを負ったり製品が破損する可能性があります。**



本体のドラムキャップが正しく装着されていない状態で作動しないでください。



都市ガスやプロパンガスなどのガス漏れが発生している場合には、電源プラグの抜き差しや、電源を入れず、室内を完全に換気してください。火災やけがの恐れがあります。



ジュース排出口やかす排出口に箸、スプーンなどを絶対に入れないでください。けがや故障の原因になります。



作動中にスクリューの回転が止まった場合、電源ダイヤルを【逆回転/REV】方向に20～30秒間回して逆回転させます。逆回転作動が完全に止まった後に再度【正回転/ON】方向へ回してください。作動中に停止したままの状態では放置すると、モーターの過熱による部品の破損や機能低下の原因になります。問題が解決しない場合は製品を停止させ、弊社フリーダイヤルまでお問い合わせください。



作動中に本体を移動させたり、ドラムセットや部品の着脱はしないでください。けがや故障の原因となります。必ず本体を停止させ、電源コードを抜いてから行ってください。



本製品は、平らで安定した場所に置いた状態でご使用ください。不安定な場所での使用はけがや故障の原因となります。



1回の使用につき、30分以上続けて使用しないでください。モーターが過熱し、故障の原因となります。5分程度完全に停止させた後に使用してください。



投入口に食材を入れる際、製品に付属している“押し棒”以外のものや手を使用しないでください。けがや故障の原因となります。



製品に激しい衝撃を与えたり、落としたりしないでください。感電や火災、破損の原因となります。



異常故障時には、ただちに使用を中止してください。すぐに電源プラグを抜いて、弊社フリーダイヤルまでお問い合わせください。＜異常故障例＞部品のひび割れ、破損した電源コード類の異常過熱やこげくさいにおいがした場合、異常な音や振動がする場合など。



使用時以外は、電源コードを抜いてください。その際はプラグを持って引き抜いてください。コードを引っ張ってプラグを抜くと、断線やスパークなどによる、けがや感電、火災の原因となります。



80℃以上の高温では洗浄しないでください。また、電子レンジなどに入れないでください。部品の変形や、故障の原因となります。



本体の重量は約5.7kgです。本体を移動させる場合は、必ず両手で本体下部を確実につかんで移動してください。ドラムや本体の側面などを片手で持って移動しようとする場合、けがや故障の原因となります。



家庭用製品を大量搾汁の業務用目的で使用しないでください。大量の材料を無理に搾汁した場合の部品、破損の原因となります。業務用目的で使用する場合は使用方法については弊社フリーダイヤルまでお問い合わせください。

05 ジュースを作る際の注意事項

●食材によるアレルギーがある場合は、体質に合った食材をお選びください。

・玉ねぎなど、一度に摂りすぎるとアレルギー症状が出ることもあります。

●搾汁する上で注意が必要な食材：以下の食材は搾汁する際にご注意ください。

- ・歯で噛むことができないかたい種がある食材（柿、梅、レモンなど柑橘類、サクランボ、アボカド、桃など）：必ず種を取り除いた上で搾汁してください。破損や故障の原因になることがあります。
- ・繊維の多い野菜（セリ、セロリ、大麦若葉、ケールなど）：繊維を断ち切るよう、長さ3～4cm程度に切ってください。
- ・根菜類（生姜、ニンニク、ゴボウなど）：一度に大量に搾汁すると、破損や故障の原因となることがあります。大量に搾汁する場合は、1kg程度搾汁する毎にドラムを分解し、溜まったかすを取り除き、洗浄してから再度搾汁するようにしてください。

●搾汁できない食材：以下の食材を投入した場合、破損や故障の原因となることがあります。

- ・ゴマ・樹皮・山椒・ドングリ・穀物など、水分含有量が少ない食材
- ・サトウキビ
- ・ジャガイモ、サツマイモ、カボチャ・栗など（水でふやかしたり、ゆでたり蒸した場合は搾ることができます）
- ・生の魚介類・肉類・塩辛など
- ・酒、蜂蜜、砂糖漬けなどの果物
- ・氷（フィルター、フローゼンフィルター共に使用できません）

※搾汁できる食材かどうかお困りの際には弊社フリーダイヤルまでご連絡ください。

●冷蔵庫に長期間保管された材料は、搾汁量が少なくなったり搾汁できないことがあります。

●搾汁したジュースはできるだけお早めにお召し上がりください。

●一度搾汁した搾りかすは、再搾汁しないでください。

●材料を一度に多く投入しないでください。

材料が大量に投入することで、動作が停止することがあります。もし停止した場合には電源ダイヤルを【逆回転/REV】方向に20～30秒程、逆回転させてください。

●一回で350ml以上搾汁する際には、350mlまでジュースがたまったら、ジュースキャップを開けて溜まったジュースを排出してください。

●大量に搾汁する際には、ドラム内に溜まったかすをこまめに取り除いてください。かすが溜まりすぎると、ドラム内の圧力が高まり分解できなくなったり、破損する可能性があります。

●本体に水や汁が付着したり、溜まっている場合は、必ず乾いた布でふき取ってから使用して下さい。

●食材によっては搾りかすがドラム内に残ることがございますが、異常ではありません。

●冷凍の果実はフローゼンフィルターのみ使用できます。ジュースで使用する場合には、完全に解凍させてからご使用ください。

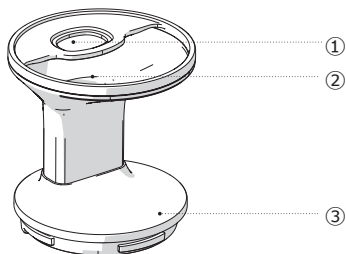
●水を凍らせた氷やその他の材料の粉碎には使用しないでください。 破損や故障の原因になります。

●使用後はなるべくすぐにドラムを分解し、洗浄してください。放置すると分解・洗浄がしにくくなるだけでなく、機能低下の原因になることがあります。

06 部品名称 (ドラムセット)

食材にふれるドラムセットの各部品（カップ類、アクセサリ品含む）はメーカー保証対象外の消耗・交換部品として販売しております。弊社ホームページもしくは、フリーダイヤルにてご注文ください。

01



ドラムキャップ

- ① 上面投入口
- ② 側面投入口
- ③ ドラムキャップ安全装置▼

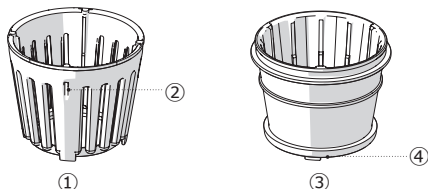
02



スクリュー

- ① スクリュー軸
- ② スクリューパッキン

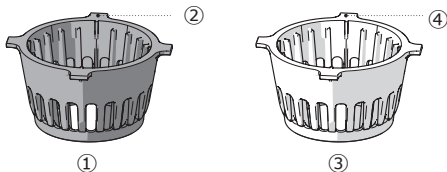
03



フィルター

- ① インナーフィルター
- ② インナーフィルター取付点
- ③ フローズンフィルター
- ④ フローズンフィルター取付点

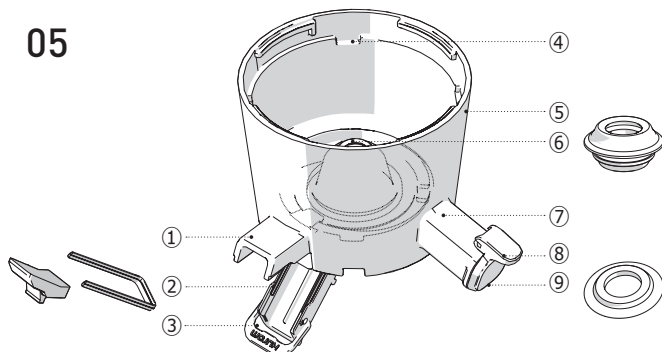
04



アウターフィルター

- ① 細目フィルター（黒色）
- ② 細目フィルター取付点（J）
- ③ 粗目フィルター（オレンジ色）
- ④ 粗目フィルター取付点（S）

05

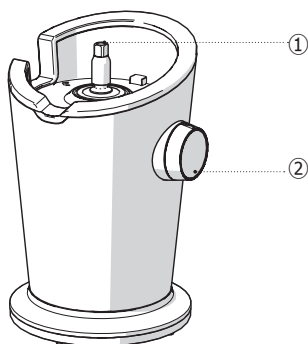


ドラム

- ① 搾りかす排出口
- ② 搾汁パッキン/ レバーパッキン
- ③ 排出カバー/ フック
- ④ フィルター取付溝
- ⑤ 組み立てガイドマーク()
- ⑥ ドラムパッキン
- ⑦ ジュース排出口
- ⑧ ジュース キャップ
- ⑨ ジュース キャップ パッキン

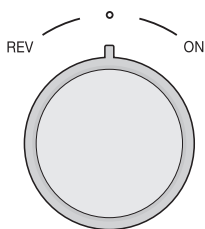
07 パーツ リスト(本体・その他構成部品)

06

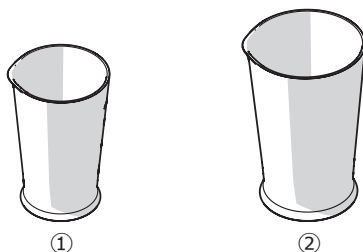


本体

- ① モーター軸
- ② 電源ダイヤル



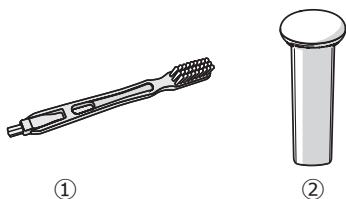
07



カップセット

- ① ジュースカップ
- ② 搾りかすカップ

08



アクセサリー

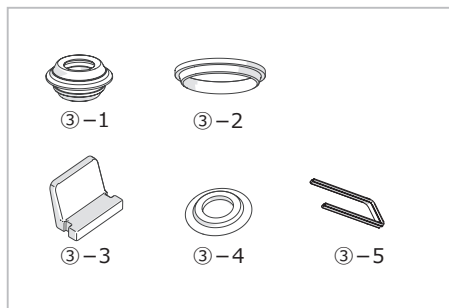
- ① 掃除ブラシ
- ② 押し棒

※ 「押し棒」は薬物などの投入を補助するものです。食材を押込むものではありません。

③ 予備パッキンセット

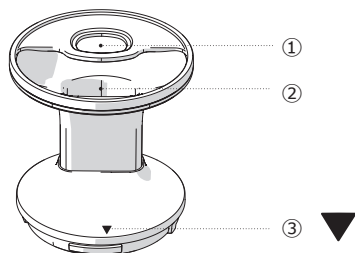
- 1) ドラムパッキン
- 2) スクリューパッキン
- 3) 搾汁パッキン
- 4) ジュースキャップパッキン
- 5) レバーパッキン

※ これらは予備のパッキンです。各パッキンが消耗した場合に交換してお使いください。



08 各部品について

01 ドラムキャップ



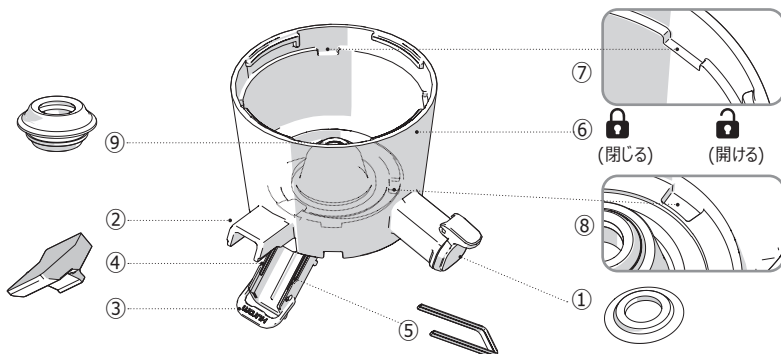
① **上面部投入口**：セロリ等の葉物野菜やニンジン等を投入する時に使用します。

② **側面部投入口**：ミニトマト、ブドウなど丸い食材を投入する時に使用します。

③ **ドラムキャップ側安全装置**：

ドラムを組み立てる際の目印となります。正しく組み立てていないと正常に作動しません。

02 ドラム



① **ジュース キャップ/ジュース キャップ パッキン**：搾汁時、ジュースがこぼれないように止めるキャップです。ジュースキャップパッキンはジュースキャップの内側に取り付けられています。

② **搾りかす/フローズン排出口**：搾汁時の搾りかすやフローズンが排出されます。

③ **排出カバー / フック**：搾りかす排出口底部の部品です。

正しく取り付けないと、搾汁したジュースが漏れ出すことがあります。

④ **搾汁パッキン**：排出口に取り付けるパッキンです。フローズンの時は外してお使い下さい。

⑤ **レバーパッキン**：排出口に取付するパッキンです。正しく取り付けないと、搾汁したジュースが漏れ出すことがあります。

⑥ **ドラム側安全装置（開閉マーク）**：ドラムキャップを組み立てる際に確認するマークです。正しく組み立てていないと正常に作動しません。

⑦ **フィルター取付溝**：フィルターの取付点(J/S)を固定するための溝です。

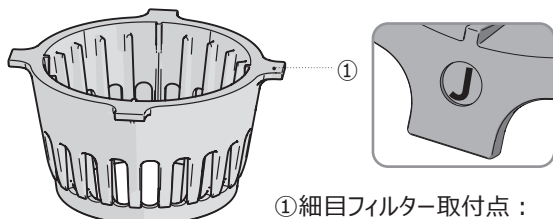
⑧ **ドラム底の溝**：フローズンフィルター、インナーフィルターの取付点を合わせ、固定する溝です。

⑨ **ドラムパッキン**：ドラム底部の中央にあるパッキンです。

正しく取り付けないと、搾汁したジュースが漏れ出すことがあります。

09 各部品について

03 細目フィルター（黒色）



- ①細目フィルター取付点：
ドラムとフィルターを固定する羽です。
ドラム内のフィルター取付溝とフィルタ取付点
を合わせて組み立てて下さい。

- ・根菜類（ニンジンなど）や葉物類（セロリなど）、果物を搾汁する時に使用します。
（ただし、やわらかい果物は粗目フィルターを使用してください）
- ・フィルターの見分け方：黒色でフィルター取付点に【J】と記載しています。
- ・食材によって、搾汁前に下準備が必要となりますので、下記をご参照ください。

根菜類	ニンジン・ サツマイモ・ ジャガイモ・ ショウガ・レンコン・ ゴボウ等	材料をきれいに水で洗います。 水洗い時、土、異物をしっかりと洗い流してください。 ショウガは薄くスライスし、ゆっくり投入してください。 他の根菜類は長さ3～4 cm程度、太さが人差し指程度のスティック状にカットしてください。 大量に搾汁する場合はこまめにドラム内のかすを排出し、フィルター類が熱で変形しないように簡易洗浄してください。
葉物類	ケール・小松菜・ ホウレン草・セリ・ セロリ・白菜・ アスパラ等	葉物野菜に含まれる繊維はかたく長い為、繊維を断ち切るよう3～4 cm程度の長さのカットすることで効率的に搾ることができます。 ニラ等の細長い野菜類は、散らばらないよう一束にまとめて投入してください。 大量に搾汁する場合、1kg程度搾汁するごとに、分解・洗浄を繰り返してください。 *ほうれん草のみで搾汁する場合、泡が発生しやすいため、ミックスジュースとして少量を搾汁することをおすすめします。 *太い茎のセリは破損の原因になりますので、茎がやわらかいものをご使用ください。
皮が厚い果物類	ザクロ・スイカ等	皮をむいて果肉を投入口に入れられる大きさにカットし、準備してください。 噛みきれないかたさの種は、取り除いてから投入してください。
種が大きい果物類	柿・梅・スモモ・ サクランボ等	噛みきれないかたさの種、桃のような大きい種がある果物類は、種を取り除き、果肉のみ使用します。投入口に入れられる大きさにカットします。
ナッツ・豆類	アーモンド・ クルミ等	ナッツ類はできるだけ他の食材とミックスしてお使いいただくことをおすすめします。 最初に他の食材を投入後、少量のナッツ類をゆっくり投入してください。 豆類は1日程度、水に十分浸してから投入してください。
細目フィルターで搾汁できないもの（果肉がやわらかい果物）	イチゴ・キウイ・ トマト・ミニトマト・ マンゴー・ パイナップル等	左記食材を単体で搾る際は、細目フィルターでは材料がドラムの中にとどまり、ジュースが搾れませんので、粗目フィルターで搾汁してください。

10 各部品について

04 粗目フィルター（オレンジ色）



①粗目フィルター取付点：
ドラムとフィルターを固定する羽です。
ドラム内のフィルター取付溝とフィルター
取付点を合わせて組み立ててください。

・果肉がやわらかい果物、果肉が多い果物のジュースを搾汁する時に使用します。

・フィルターの見分け方：オレンジ色で、フィルター取付点【S】と記載しています。

・食材によって、搾汁前に下準備が必要となりますので、下記をご参照ください。

柑橘類	レモン・オレンジ・ グレープフルーツ等	皮をむき、果肉を8等分程度にカットします。じょうろ（小袋）に切り目を入れることで、より効率的に搾ることができます。噛みきれないかたい種は取り除いてから、投入してください。また皮を使用する場合は、ごく少量を細切れにカットし、ゆっくりと少しずつ投入してください。
皮が厚い 果物類	メロン・ パイナップル等	皮をむき、果肉を投入口に入れられる大きさにカットします。 噛みきれないかたさの種は取り除いてから、投入してください。
種のある 果物・ブドウ類	ブドウ・果肉のやわらかめなリンゴ・ やわらかい桃・ やわらかい柿等	噛みきれないかたさの種、桃の種のような大きい種のある果物は、必ず種を取り除き、果肉だけを投入口に入れられる大きさに切って準備します。 ブドウは果軸から1つずつ取ってから、きれいに洗い、そのままご使用ください。（種や皮を取り除く必要はありません） 熟してやわらかくなった食材は単体で搾汁せずに、他の食材と一緒に搾汁してください。
果肉が やわらかい 野菜・果物	イチゴ・ベリー類・ トマト・ミニトマト・ キウイフルーツ・ マンゴー・ パイナップル等	きれいに洗い、投入口に入るぐらいの大きさにカットしてください。 ヘタがある材料は取り除いてください。 搾汁の際には、先に繊維質の多い野菜やリンゴ、ニンジン、ピーズ、大根等のための食材を2かけら程度投入したあとに、やわらかい材料を投入してください。
	バナナ	皮をむき、5等分くらいにカットします。 他の果物・野菜類と少しずつ混ぜて搾汁してください。

注意 お使いいただく際の注意事項

＊食材によるアレルギーがある場合は、体質に合った食材をお選びください。

＊食材に適したフィルターをご使用ください。

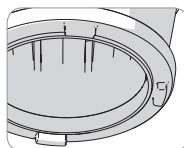
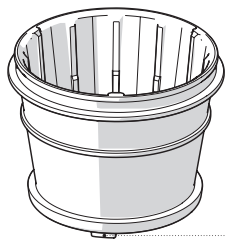
・やわらかい（熟した）果物を搾汁する際細目フィルターを使用すると、ドラム内に材料がたまり、ジュースが搾れないことがあります。

・繊維質が多い食材を粗目フィルターで搾汁した場合、とろみのあるジュースになります。

＊スロージューサーで使用できない食材を投入した場合、破損、故障の原因になります。
＜ジュースを作る際の注意事項＞を参照ください。（P.5 参照）

11 各部品について

05 フローズンフィルター



①フィルター取付点：

ドラムにフローズンフィルターを組み立てる際、ドラム底部にある取付溝とフィルターの取付点を合わせて組み立ててください。

- ・冷凍の果物をフローズンドリンクやシャーベット等を作る時に使用します。
- ・フローズンフィルター使用時にはアウターフィルターは使用しません。
- ・果物類を約 2 cm の大きさにカットし、完全に凍らせてください。
- ・噛みきれないかたさの種がある果物は、必ず種を取り除いてから投入してください。
- ・水を凍らせた氷やクラッシュアイスなどは破損・故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・一度にたくさんの材料を投入したり、大きなサイズの入ると動作不良の原因になりますので、少しずつ投入してください。
- ・少し解凍された果物を使用する場合、排出口やフィルターの外側に汁がこぼれ出ることがあります。（製品の故障ではありません）
- ・フローズンデザートをお楽しみいただける食材と下準備については、下記をご参照ください。

皮が厚い 果物類	スイカ・メロン等	皮をむき、果肉を2cm程度にカットしてから、凍らせてください。
種のある 果物類	マンゴー・桃・ ブドウ等	マンゴー、桃、レモンのような歯で噛みきれないかたさの種がある果物は、必ず種を取り除いた後に完全に凍らせてから使用してください。ブドウは種のない品種を完全に凍らせてから使用してください。
果肉が やわらかい野 菜・果物	バナナ・イチゴ・ キウイフルーツ・ トマト・ミニトマト等	バナナ、キウイフルーツ等は皮をきれいにむき、2cm程度にカットし、完全に凍らせてから使用してください。 ミニトマト、イチゴはへたをとってから凍らせてください。

*一度に多量の食材を投入すると動作不良の原因となりますので、少量ずつ投入してください。

06 電源ダイヤル

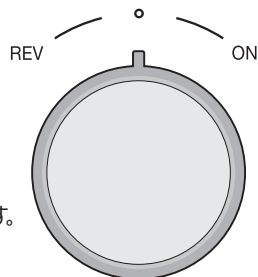
製品を作動している際に、左右に回して使用します。

[ON] : 作動—製品を作動し、搾汁時使用します。

[○] : 停止—製品作動を停止する時使用します。

[REV] : 逆回転—搾汁中に食材が多く投入され、動作が停止した時に使用します。

※逆回転機能は【REV】方向にダイヤルを回している間だけ作動します。（手を放すと止まります）



12 ドラムセットの組み立て方(細目フィルター・粗目フィルター)

* 本体との組み立て方法は、P. 16をご参照ください。

ドラム
キャップ



⑦

⑦ドラムキャップ安全装置▼

スクリュー

⑥

⑥スクリューバックン

インナーフィルター



⑤

⑤インナーフィルター取付点

アウターフィルター



④

④フィルター取付点

フィルター取付溝



ドラム側安全装置

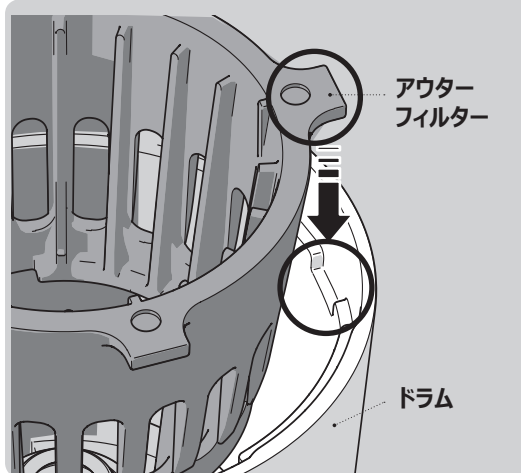
③

②

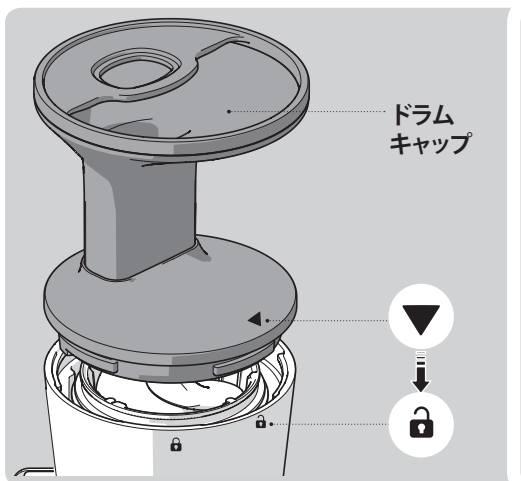
排出カバー

①

ドラム

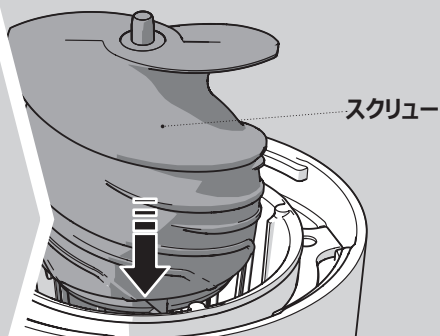
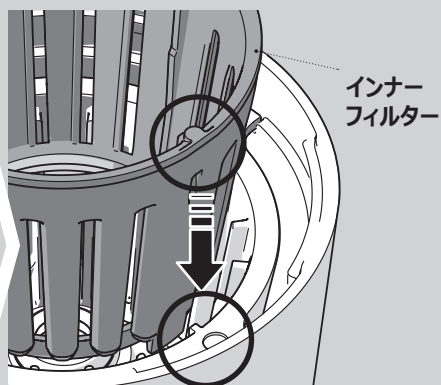


01 ドラムのフィルター取付溝 (③) とアウターフィルターの取付点 (④) を合わせ、差し込みます。



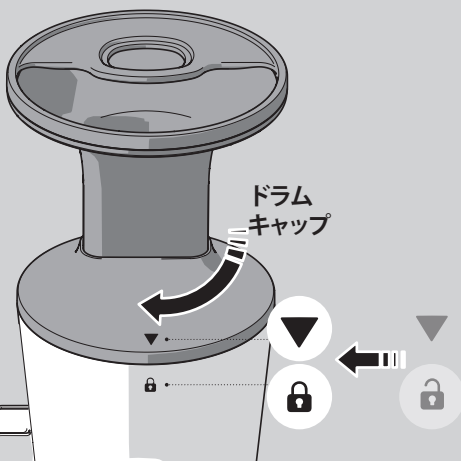
04 ドラムキャップの安全装置 (⑦) とドラム側安全装置 (②) を合わせます。

13 ドラムセットの組み立て方(細目フィルター・粗目フィルター)

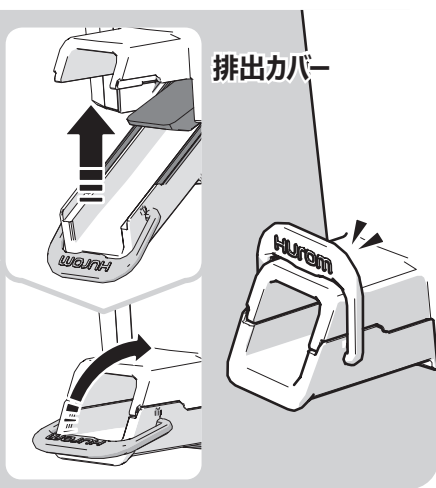


02 ドラム内に差し込んだアウターフィルターに、インナーフィルターを差し込みます。インナーフィルターの取付点 (⑤) とアウターフィルターの取付点 (④) を合わせて組み立てます。

03 02を組み立てたら、スクリューをはめ込みます。
※はめ込む前にスクリュー下部にスクリューパッキン (⑥) がしっかり取り付けられているかをご確認ください。



05 ドラムキャップを(🔒)点まで、時計方向に回してください。ドラム内部の部品を正しく組み立てていないとドラムキャップが閉まりません。



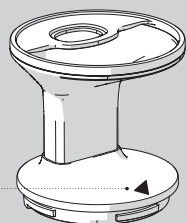
06 排出カバー (①) とフックが正しく閉じられているかを確認してください。

1. 排出カバーを上げ、閉めます。フックを掛けて下さい。
2. パッキンを正しく取り付けしていない場合やカバーがきちんと閉じられていない場合は、搾汁途中にレバーが開いたり、ジュースが漏れることがあります。

14 ドラムセットの組み立て方(フローゼンフィルター)

* 本体との組み立て方は、P. 16 をご参照ください。

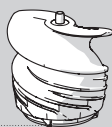
ドラム
キャップ



⑤

⑤ドラムキャップ安全装置 ▼

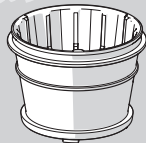
スクリュー



④

④スクリューパッキン

フローゼンフィルター



③

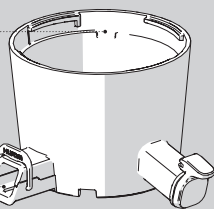
③フローゼンフィルター取付点

ドラム側安全装置

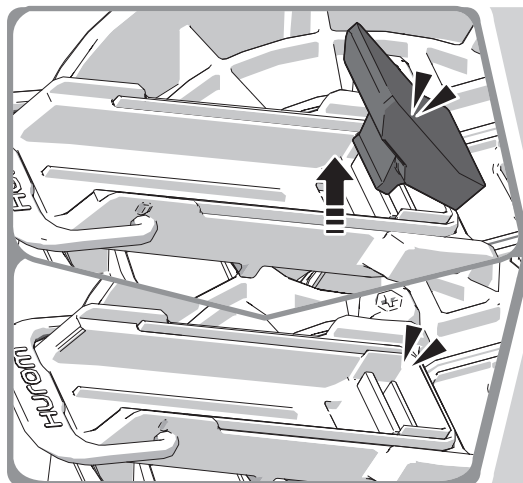
②



①
排出カバー

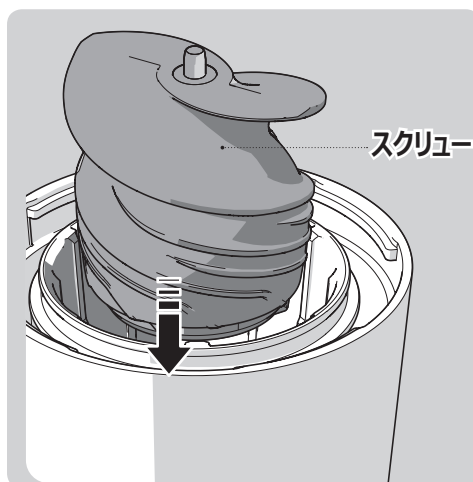


ドラム



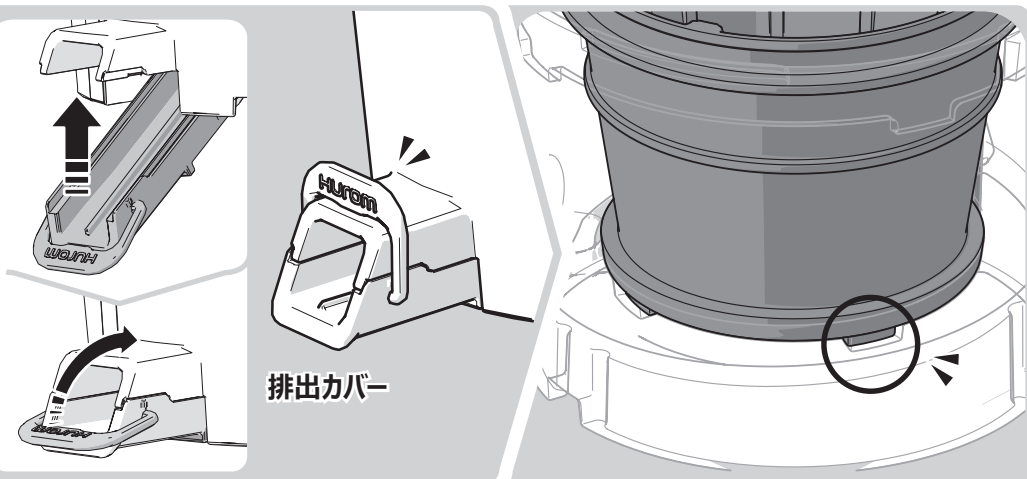
01 排出カバーにある搾汁パッキンを取ります。

1. フローゼンの時には搾汁パッキンを取りはずしてから使用して下さい。
2. レバーパッキンは取らないで下さい。



04 フローゼンフィルターを取り付けたら、スクリューをはめ込みます。

はめ込む前にスクリュー下部にスクリューパッキン (④) がしっかり取り付けられているかをご確認ください。

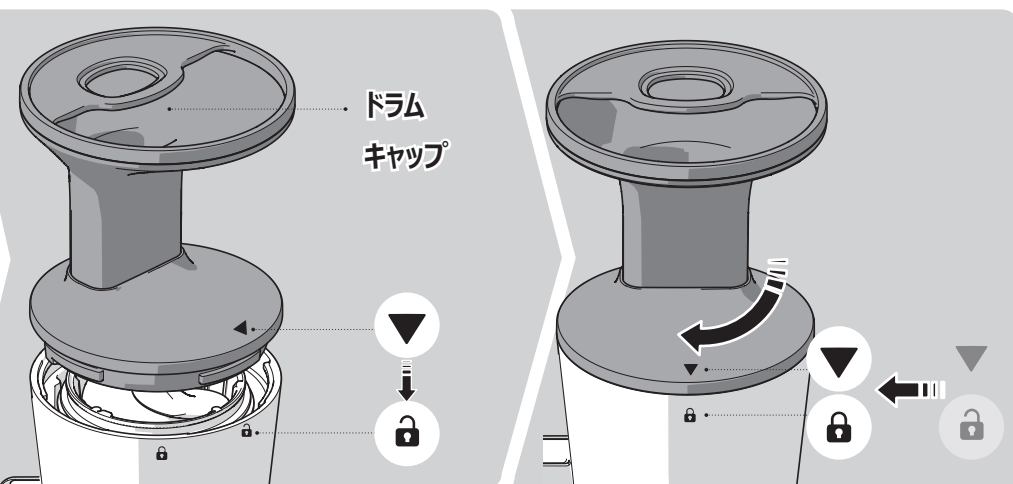


02 排出カバー (①) フックが正しく閉じられているかを確認してください。

1. 排出カバーを上げ、閉めます。フックを掛けて下さい。
2. パッキンを正しく取り付けしていない場合やカバーがきちんと閉じられていない場合は、搾汁途中にレバーが開いたり、ジュースが漏れることがあります。

03 ドラムにフローズンフィルターを組み立てます。

ドラム底部の溝にフローズンフィルター取付点 (③) が合うように回して組み立てます。



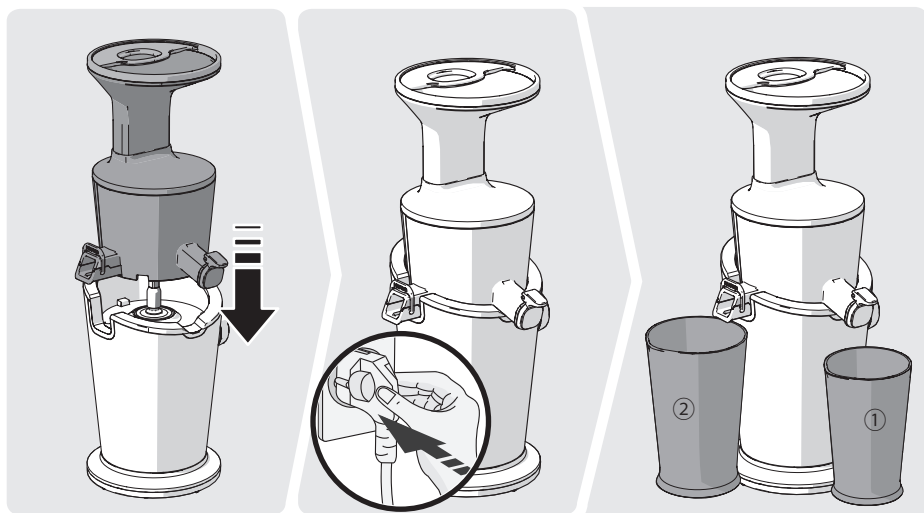
05 ドラムキャップの安全装置 (⑤) とドラム側安全装置 (④) 点を (②) を合わせます。

ドラム内部の部品を正しく組み立てていないとドラムキャップが閉まりません。

06 ドラムキャップを[④]点まで、時計方向に回してください。

ドラム内部の部品を正しく組み立てていないとドラムキャップが閉まりません。

16 ドラムセットと本体の組み立て方



01 本体にドラムセットを図のように取り付けます

02 ドラムセットと本体を組み立て後、乾いた状態の手で電源コードを差して下さい。

03  ジュースを搾汁する時はジュースカップ^①と搾りかすカップ^②を置いてください。



フローズンをつくる時には、搾りかす/フローズン排出口のみにカップ^②を置いてください。フローズンは搾りかす/フローズン排出口から出てきます。

搾汁前にもう一度ご確認ください。

- ☒ 搾汁する食材に合ったフィルターを使用しているかご確認ください。
やわらかい（熟した）果物を搾汁する際に細目フィルターを使用した場合、ドラムの中に材料が溜まることがあります。繊維質が多い野菜・果物を粗目フィルターで搾汁した場合、ジュースがどろどろになることがあります。
- ☒ ドラムキャップがしっかりと閉められているかをご確認ください。
正しい組み立て方でないとは作動しません。
- ☒ ジュースキャップがしっかりと閉められているかをご確認ください。
ドラム内のジュースの量が満量の時、もしくはジュースを出したい場合に開けてください。
- ☒ ドラムセットが正しく組み立てられているかをご確認ください。
ドラムセットを正しく組み立てていないと、本体に取り付けても作動しません。
- ☒ フローズンは搾りかす排出口から出てきます。

17 電源ダイヤルの操作方法/使用中スクリューが止まる時

電源ダイヤル操作方法

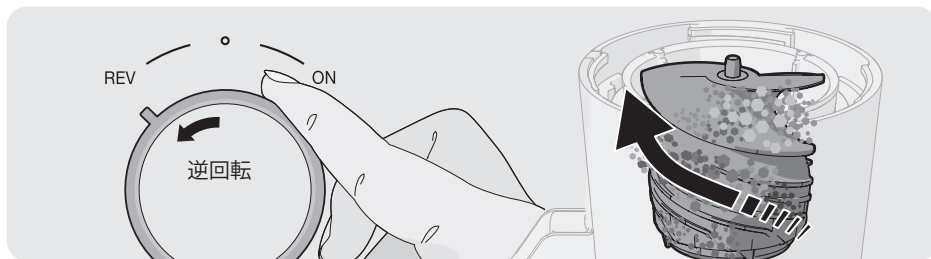
製品を作動している際に、左右に回して使用します。

- ① ダイヤルを右側（時計方向）の【ON】に回すと、ジュースが作動し、搾汁します。
中央に合わせると搾汁を停止します。
ダイヤルを左側（反時計方向）の【REV】に回すと、逆回転します。
逆回転機能は、搾汁中に食材が多く投入され、動作が停止した時に使用します。
- ② 逆回転機能は【REV】方向にダイヤルを回している間だけ作動します。
（手を放すと止まります）



使用中に作動が止まる場合

- ※かたい材料を一度に大量に投入したり、間隔をつめて投入した場合に動作が停止することがあります。
- ※下記の方法を行っても作動しない場合は、弊社フリーダイヤルまでお問い合わせください。



01 電源ダイヤルを反時計【REV】方向に20～30秒間回して手を離す操作を、2～3回繰り返してください。

逆回転はドラム内の食材を上押し上げる機能です。

逆回転はダイヤルを回している間だけ作動し、ダイヤルから手を放すと、スクリューの回転が止まります。



02 逆回転が完全に停止した後に、電源ダイヤルを時計【ON】方向に回して作動させます。

- ※【ON】、【REV】機能を作動時には必ずスクリューの回転が完全に止まってから、次の動作を行ってください。

18 搾汁方法 (ジュース/フローズン)



19 搾汁方法 (ジュース/フローズン)

01 ドラムの搾汁レバーとジュースキャップが正しく閉められているかを確認します。

① 搾汁レバーを閉めても搾りかすは排出されず。

搾りかすの排出速度および排出量は食材によって異なります。



ジュースの時： 搾汁パッキンとレバーパッキンがきちんと取り付けられているか確認し、排出カバーを閉めて下さい。



フローズンの時： フローズンの時には搾汁パッキンを取りはずしてから使用して下さい。

① レバーパッキンは取り外さないで下さい。

02 電源ダイヤルを時計方向【ON】に回して下さい。

① 電源ダイヤル作動時、カチャッと音がします。

ドラムセットとモーターが接合する音ですので問題ありません。

② 安全上、本体のみでは作動しません。

ドラムセットと正しく組み立てられている状態の時だけ作動します。

03 材料を投入口にゆっくり入れます。(3～5秒に1回程度)

① 上面投入口には葉物類や根菜類、人参などの食材を投入する際にご使用ください。

② 側面投入口には、ミニトマトやブドウのような丸い食材を入れる際に使用すると便利です。

04 葉物が投入口に貼りついたり、投入口に食材が挟まった際には、押し棒で押します。

① 押し棒以外の道具や手を投入口に入れないでください。けがや製品破損の原因になる恐れがあります。詰め込み過ぎた食材をさらに押し棒で押し込むことはお避けください。

② 投入量が多すぎて製品が止まった場合には電源ダイヤルを反時計方向【REV】に回して逆回転させてください。

05



ドラム内にジュースがある程度溜ったら、ジュースキャップを開けてジュースを排出してください。

① 水分量の多い食材など、食材特性によって、ドラム内にジュースがすぐに溜まる場合があります。

ジュースが漏れないよう注意してください。

② 白菜、リングなど泡が発生しやすいジュースは、ジュースキャップを開けたまま搾汁します。

③ フローズンの時はフローズン排出口から出て来ます。

06 最後の材料を入れた後、すぐに止めずに約1分ほど作動させ、ジュースを排出してください。

ゆっくりと押し搾るため、最後の材料を搾汁するまで時間がかかります。

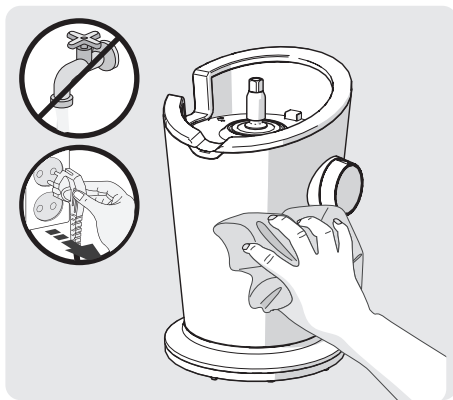
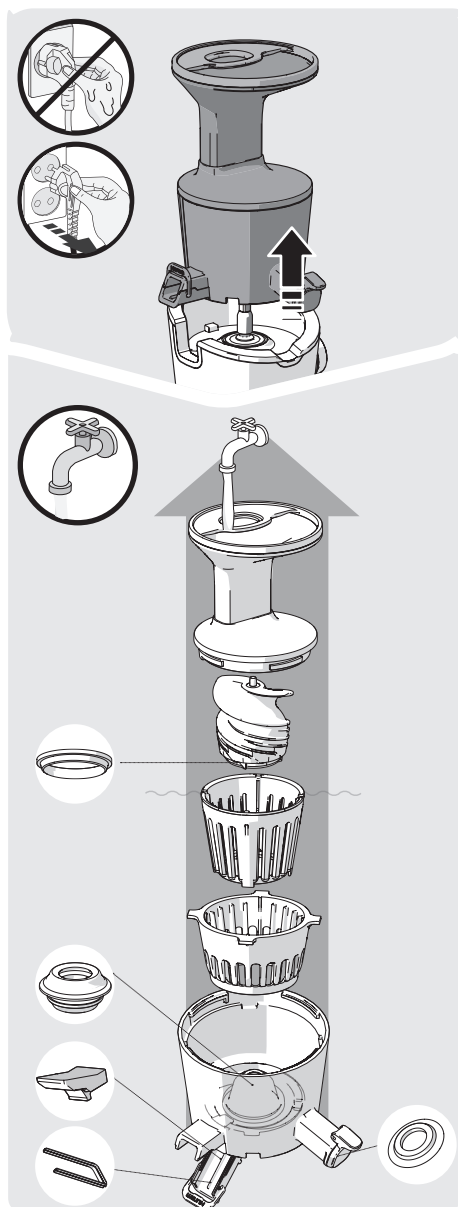
07 搾汁が終わったら、電源ダイヤルを【O】方向（反時計方向）に回して停止します。

電源ダイヤルを【O】に合わせてから3秒後に作動が止まります。

08 ドラムの中に残ったジュースはドラムセットを左右に傾けて注いでください。

トマトやバナナなど、ドロっとしたジュースは、ドラム内にジュースが残ることがあります。

20 分解と洗浄方法



＊製品の作動を止めても、モーターはゆっくり止まりますので、作動が完全に停止してから3秒後に、ドラムセットを取り外すようにしてください。

- 01 ドラムセットを本体から取り外します。ドラムキャップを回して外したあと、中の部品を分解します。
- 02 各部品は掃除ブラシを使用し、水を流しながら部品を洗浄します。
- 03 ドラムは排出カバーとジュースキャップとジュースキャップを開けて洗浄します。
- 04 本体は水気をしっかり切ったタオルや柔らかい布で拭いてください。
- 05 シリコン製パッキン類は、定期的に取り外して洗浄してください。
※搾りかすやジュース等が付着している場合があります。（スクリューパッキン、ジュースキャップパッキン、搾汁パッキン、レバーパッキン、ドラムパッキン）
- 06 重曹または食器用漂白剤を薄めた水に30分程度つけ置きすることで、殺菌洗浄ができます。

＊使用後すぐに洗浄しないと、搾りかすが乾燥して付着し、分解と洗浄がしにくくなり、性能低下の原因になります。使用後はすぐに洗浄してください。

＊80℃以上の高温で洗浄しないでください。また、変形の原因となりますので、電子レンジなどには入れないでください。

＊鉄たわし、研磨剤、有機溶剤等は使用しないでください。

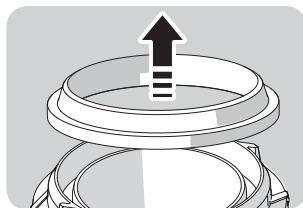
＊洗浄が終わったら、完全に自然乾燥させてから、清潔な場所に保管してください。

21 シリコン類の分解、取り付け方と洗浄方法

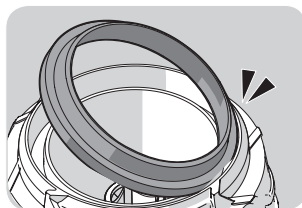
パッキン類は消耗品のため、6ヵ月から1年単位で交換していただくことをおすすめします。

スクリーパッキンの分解および取り付け

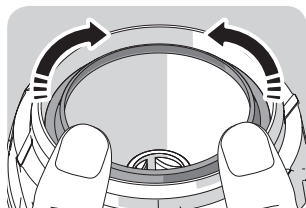
(正しく組み立てていないと、ドラムキャップとの組み立てができません)



01 スクリューを逆さにして、パッキンを軽くひねりながら引き上げます。



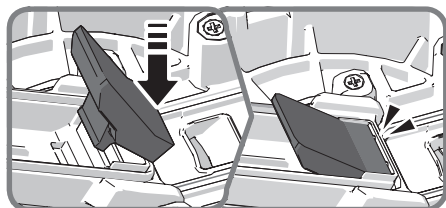
02 洗浄後、パッキンの薄いほうを上側に向けます。



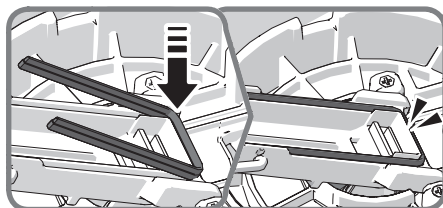
03 スクリュー底部に指を使って差し込み、しっかりと押し込んでください。

搾汁パッキン/レバーパッキンの組み立てと分離

(正しく組み立てていないと、ジュースが漏れる恐れがあります。)



01 パッキンをもって、引きながら取り外します。

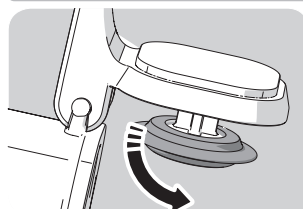


02 片面の角から差し込んで行きます。

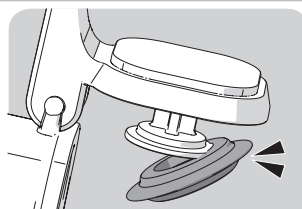
03 残りの片側も穴に差し込みます。外れないようしっかりと押さえてください。

ジュースキャップパッキンの組み立てと分離

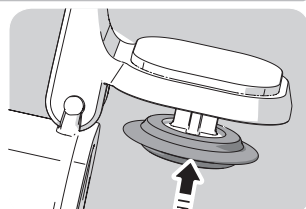
(正しく組み立てていないと、排出口からジュースが漏れることがあります)



01 パッキンをもちながらやさしく引っ張ってください。



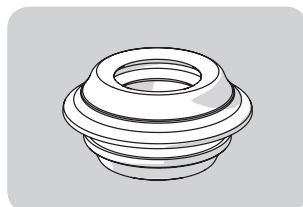
02 洗浄後、キャップの先の部分にパッキンを図のように引っ掛けてください。



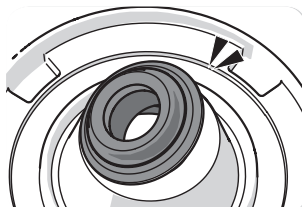
03 残りの部分も引っ掛けて、パッキン全体を押さえてください。

ドラムパッキンの組み立てと分離

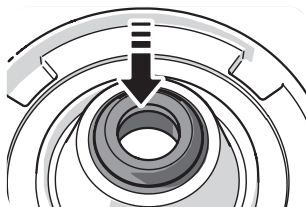
(正しく組み立てていないと、ドラムからジュースが漏れます)



01 取り外す際は、二本の指で挟み、ひねるようにして取り外してください。



02 洗浄後、パッキンの上下を確認し、ドラムの穴に合わせて、パッキンの一部を差し込みます。



03 パッキンの残り部分がへこんだりしないよう、しっかりと押さえながら組み立てます。

22 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。これらの状態は故障ではありません。

修理依頼やお問い合わせの前にもう一度お調べください。

修理または部品に関するお問い合わせは、弊社フリーダイヤルもしくは弊社ホームページよりお申込みください。
(www.huromjapan.com/repairservice)

なお、修理等や部品をお申込みされる際には、事前にモデル名やシリアルナンバーをご確認ください。

01 作動する時にキュンと音が出る	モーターとスクリーが接合する音です。故障ではありません。
02 キイキイとこずれる音がする	スクリーバックینگがドラムと摩擦する時の音です。製品の異常ではありません。
03 本体のみでは作動しません	安全のため、ドラムセットが正しく装着された場合のみ作動します。
04 安全装置に合わせて組み立ててください	安全のため、ドラムキャップとドラムが正しく装着されている時だけ作動します。
05 動きません	電源プラグがきちんと差し込まれているかご確認ください。 長時間（30分以上）搾汁すると作動しなくなることがあります。 本体（モーター）の熱が冷めることで、正常動作が可能となります。 ドラムキャップが正しく装着されているかご確認ください。 組み立ての手順に沿って正しく組み立てられているかご確認ください。 P.12～16の各「組み立て方」をご参照ください。
06 作動中に停止する	材料をまとめて投入、太い材料を投入していませんか？ P.17「使用中スクリーが止まる時」を参照の上、逆回転の作動を行ってください。
07 スクリューに削れたような跡や、傷のような跡がある	成形の過程でできた成形痕（ゲート）です。 使用上問題はありまませんので、ご安心ください。
08 材料投入直後に、搾りかす排出口よりジュースが漏れる	投入する材料によって、搾りかす排出口からジュースが少し漏れることがありますが、製品の異常ではなく、材料の特性による現象であり、しばらく作動することで、ジュースの漏れは止まります。 ジュースの漏れが止まらない場合は、弊社フリーダイヤルにご連絡ください。
09 本体の上にジュースが漏れる	ジュースキャップを閉じた状態で大量に材料を投入していませんか？ ドラムの容量に比べて投入量が多い場合、ドラムキャップとドラムの隙間にジュースが漏れることがあります。ドラム内のジュースがドラム容量を越える前にジュースキャップを開けて下さい。漏れたジュースは拭いてから使用してください。 それでもジュースが漏れる場合は、弊社フリーダイヤルにご連絡ください。 ドラムバックینگが正しく装着されていない。 ドラムバックینگが裏表反対に装着されていたり、完全に組み立てていないと、ジュースが漏れます。ドラムバックینگが正しく装着されているかご確認ください。
10 ドラムキャップが開かない	ドラム内に搾りかすがたくさん残っていませんか？ スイッチを入れ、ドラム内に溜まっている搾りかすを排出させ、逆回転【R E V】を30秒程作動させ、止めることを2～3回繰り返し行えば、ドラムキャップが開きます。 異物、固形物（かたい種など）を投入していませんか？ 異物、かたい種を投入した場合、逆回転を行うと破損の恐れがありますので、弊社フリーダイヤルにご連絡ください。
11 搾汁時ドラムが揺れる	本体のモーターの動きで多少揺れることがあります。食材の特性（かたさ・繊維の種類）によって揺れが起こる場合があります。これはスクリーの回転による正常な動作の範囲内で、故障ではありません。水分が多くやわらかい食材に比べ、かたい食材は揺れが大きい場合があります。（ニンジン・大根・ピーズなど）

23 保証・アフターサービスについて

保証書のご使用法

1.この保証書は取扱説明書内の警告・注意等に従って正常なご使用状態で故障した場合のみ、本書記 載内容に基づき、お買い上げ後1年間、保証対象部分（本体）に限り無償にて修理または交換すること をお約束するものです。

したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に 対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

2.保証期間内に故障し、無償の修理を受ける場合は、お客様窓口にご連絡いただき、修理をお申し 付けの上、製品に保証書を添えてお送りください。

3.保証期間内でも下記の場合には有料修理になります。

- (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の輸送、落下による故障および損傷
- (ハ) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障、および損傷
- (ニ) 本書の提示がない場合
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句が書き換えられた場合
- (ヘ) 故障の原因が本製品以外（電源、他の機器等）にあつてそれを点検、修理した場合
- (ト) 一般家庭用以外（例えば、業務用、船舶や海上使用など）で使用された場合の故障および損傷
- (チ) 腐食による故障および損傷
- (リ) 樹脂加工およびメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷

4.弊社製品には正規品および製造日を判断することができる「バーコード」がついています。「バーコード」が貼付されていない場合や毀損（きそん）している場合には、ライセンス認定や製造日の判断ができません場合があります。メーカーの品質保証の義務に基づく無償アフターサービスが制限されることがありますので、製品購入時には、本体底部の「バーコード」が付いているかどうかを、必ずご確認ください。

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※保証期間後の修理・点検等による諸費用は、お客様がご負担くださるようお願いします。

また、お買い上げの販売店と当社間の運賃など諸費用につきましては、輸送方法によって、一部ご負担いただく場合があります。

● 輸入販売元：HUROM株式会社

● 故障・修理についてのご相談に関しては、下記にご連絡ください。

HUROM株式会社 お客様窓口

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-4-6 木村実業第2ビル7F
フリーダイヤル：0120-288-859

受付時間：10:00～12:00 13:00～17:00（土日祝以外の月～金曜日）

※モデル名をご確認の上、お電話いただくようお願いいたします。

製品仕様

製品モデル名	ヒューロムスロージューサー H-100S	製品サイズ	幅210mm 奥行224mm 高さ471mm
定格電圧	100V	コードの長さ	1.4m
定格周波数	50/60Hz	モーター	単相誘導電動機
定格消費電力	150W	ヒューズ	125V 5A
回転数	43/48回転（1分あたり）	製品重量	5.7 Kg
定格使用時間	30分以内		

●製品保証について

- この製品には保証書がついています。
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。モーター搭載部の「本体（台座）」がこの保証の対象となります。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
上に載せるドラムセットはお客様により使用食材・ご利用状況が異なるため、保証対象外の消耗部品となります。部品はパッキン1枚からお求めいただけます。
- 保証期間後の修理はお客様窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは



警告

故障の際はただちに使用をやめ、電源プラグを抜き、お客様窓口にご連絡の上送付いただき修理をお申し付けください。



注意

ご自分で修理はしないでください。大変危険です。

●補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本体の補修用性能部品の最低保有期間は最終製造終了後6年間です。

※アフターサービスについて分からないことは、ご購入の販売店、または弊社お客様窓口にお問い合わせください。

25 保証書

保証書

ヒューロムスロージューサー
H-100S

持込修理

保証 期間	お買い上げ日 年 月 日		
	お買い上げ日から本体（台座）のみ1年間 （一般家庭用に限り）		
お客様	ご住所	〒	
		電話	
お客様	お名前	ふりがな	
		様	

本書は、下記の保証規定により無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に万一故障が発生した場合は、本書をご提示の上、弊社お客様窓口へ修理をご依頼ください。

保証書に所定事項の記入または販売店印がない場合は、必ず販売店発行の領収書または、購入年月日、店名等を証明するものを合わせてご提示ください。

安全点検の為に、写しを取らせていただく場合がございます。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス及び、その後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店様へお願い

この保証書は、販売店様が所定事項を記入して効力を発揮するものです。必ずご記入ください。

お買い上げ店 所在地・店名	印

HUROM

MADE IN KOREA

Copyright© All Rights Reserved by HUROM

4DC010861_V.01